

## 上都賀地域農業振興計画（H28～32）

### 1 農業・農村の現状と課題

本県の西北部に位置する鹿沼市と日光市の2市により構成される上都賀地域は、県総面積の約30%を占め、南部の平坦地から高冷地まで豊かな水と自然に恵まれた地域です。

本地域では、米を中心とした水田農業はもとより、酪農や肉用牛などの畜産、南部平坦地では、いちご、にら、トマト、なし、花き等の園芸作物、中山間地域ではこんにゃくやそば、北部高冷地での、ほうれんそうなど、1,300m以上の標高差を活かした多様な農業が展開されています。

しかし、生産者の高齢化や後継者不足は、本地域の主力園芸品目である、いちごやにら等においても、生産者数の減少として顕在化しており、産地競争力の低下が懸念されています。

また、人口減少社会に向かう中で主食用米の需要量減少が見込まれることや米価下落等により、営農継続が限界にきている農家も多く、それらの農地を土地利用型農業の担い手へ円滑に集積するとともに、担い手の経営安定を図ることが喫緊の課題となっています。

一方で、世界遺産である日光の社寺や鬼怒川温泉等を有する日光市には国内外から年間1千万人を超える観光客が訪れ、「鹿沼さつき祭り」や「日光そばまつり」等、全国的に有名なイベントが開催されているものの、農村地域へ足を運ぶ来訪者は限られています。来訪者が“また来たい”と感じ、地域の元気創出につながる取組が求められています。



項目	単位	H22	H27	備考
総農家数	戸	6,485	5,591	農林業センサス
販売農家数	戸	4,738	3,972	〃
うち1千万円以上	戸	418		〃
うち10ha以上	戸	66		〃
主業農家数	戸	954	772	〃
基幹的農業従事者数	人	5,985	5,043	〃
新規就農者数	人	28	22	振興事務所調べ
集落営農組織数（法人を含む）	組織	9	20	〃
いちご栽培農家戸数	戸	205	166	J A部会員数
にら栽培農家戸数	戸	224	201 (H26)	〃
担い手への農地集積率	%	29	35 (H26)	市調べ
交流拠点施設利用者数	千人	1,329	1,978 (H26)	振興事務所調べ
観光客入込数	千人	14,223	14,059 (H26)	県観光交流課調べ

### 2 計画の推進方針

上都賀地域においては、「本県農業・農村の将来像」を実現するため、主力品目である、いちご、にら、トマト等の施設園芸における高い技術力を次代に円滑に継承できるよう、農内・外から新たな担い手を確保し育成するとともに、収益性の高い水田農業経営の確立に向けた生産構造の改革を進めます。さらに、農業と観光産業等との連携を強化し、多彩な地域農産物等の地域資源を活用した農村地域の活性化に取り組みます。